



発行 三重県消防職員協議会
編集 自治労三重県本部消防対策委員会
住所 〒514-8588 三重県津市栄町2丁目361
三重地方自治労働文化センター内
電話 059(227)3295

じちろうマイカー共済

契約者＝組合員で家族の車も加入できます。もちろん、割安な職域掛金も団体割引15%も適用。詳しくは、単協担当者を通じて県支部まで

県内の仲間が集結 菰野町で厚生事業開催

5月18日、三重県消防職員協議会は厚生事業の一環として、菰野町のグリーンランドあさけにおいてバーベキューを開催しました。

当日は天候にも恵まれ、三重県下から約50名の会員が参加しました。また、来賓として自治労三重県本部の川合副執行委員長、四日市市議会の竹野議員、同じく四日市市議会の加納議員にご参加いただきました。

バーベキューでは事前にも用意された肉や野菜の他にも、参加者が持参した牡蠣、ハマグリといった海産物や、有名な地酒が振る舞われ、参加者たちは懇親を深めるとともに豪華な食材を堪能しました。お腹も満たされた頃、スマートフォンなど豪華景品をかけたジャンケン大会が行われ、会場はこの日一番の盛り上がりを見せました。

終始笑顔の絶えなかった今回の厚生事業は、単協の垣根を超え会員同士の懇親を深めることができました。次年度の厚生事業は、令和7年3月に三重県消防学校にて「第2回 消防大運動会」を開催する予定です。



県消協 横山会長の挨拶



盛り上がりを見せる会場

東海ブロック消防職員連絡協議会 学習会開催

東海ブロック消防職員連絡協議会 第30回学習会



伊藤会長の挨拶

アドバイザーの中井健太郎氏（元那覇市消防局）を講師に招き「首里城火災から学ぶ火災防御」について講演いただきました。首里城の火災は2019年10月31日に発生、鎮火まで約12時間を要し、城跡であるが故の防御活動の困難性や木造建築物の延焼速度等、実際の現場活動についての貴重な話を聞くことができました。

最後に、今回の学習会を通して他消防本部の皆さんとも交流を図ることができ、協議会活動の大切さを改めて感じる貴重な機会となりました。

首里城火災の特集映像が、YouTube「1031 首里城の消防士たちいま明かされる火災の真実」として上げられているので是非一度視聴して、実際に現場に携わった消防士の声を聴き疑似体験してみてください。

学習会第二部は、自治労共済愛知県支部事務局長の前畑美帆氏による「自分のこれからを考える 知っておきたいお金の話」と題して資産形成について

令和6年6月21日（金）にワークライフプラザれあろ（愛知県名古屋市中区）にて東海ブロック消防職員連絡協議会第30回学習会が開催されました。学習会には、三重県内の会員のほか愛知県、岐阜県及び静岡県からの組織消防本部からも参加があり、約60名の消防職員が集まりました。

学習会の冒頭では、東海ブロック消防職員連絡協議会会長の伊藤氏（鈴鹿市消防）から「明るく楽しく働き易い職場環境を目指していきましょう。」とのあいさつが述べられました。



学習会の様子

学習会第一部は、消防

三重県防災航空隊 意見交換会

令和6年6月19日(水)
三重県防災航空隊に伺い
意見交換会を行いました。

この日は青空が広がる
晴天でしたが、梅雨前の
初夏の暑さを感じさせる
汗ばむ日でした。

今回の目的は、各消防
本部から出向している航
空隊員の皆さんから、
業務や活動における問題

や課題をヒアリングし意
見交換を行うこと、そし
て三重県消防職員協議会
からの情報提供を行うこ
とです。これは前回の平
成30年度に続くものです。

当日の出席者は、三重
県消防職員協議会から早
川副会長、稲垣事務局長
をはじめとする執行部役
員計5名が参加し、三重
県防災航空隊からは松浦

センター長、森本隊長を
含む計6名が業務多忙に
もかわらずご出席いた
だきました。

冒頭の挨拶で当協議会
早川副会長は、自身初め
ての訪問であり和やかな
雰囲気です。隊員方々から
意見を伺いたいと述べ、
稲垣事務局長は消防職員
協議会として航空隊員の
皆様のことを忘れず見
守っており、職場環境改
善のための意見を伺いた
い旨を伝えました。

その後、業務所管、勤
務体制、派遣職員数、各
隊員間の業務(職場環
境)、消防協議会活動、
ストレス対策、訓練時間
等、様々な項目について
航空隊員からお話を伺
いました。一部の内容を
除き、各項目とも問題解
決に向けた検討を行い、
既に措置や対策を講じて
実践しており、円滑な業
務を行っているとのこと
でした。また、他県隊や
関係機関との関係とも良
好であり、意見の言い合



分が多いと感じました。



える環境を構築している
とのことでした。

各隊員が問題・課題に
対する意識を持ち、職場
環境改善にCRM※(顧
客関係管理)の消防版
の応用を取り入れてお
り、その中で対人コミュ
ニケーションを特に重要
視していること、そして
隊全体が一丸となって問
題・課題に取り組む自主
性の高さに、当協議会と
しても非常に学ばべき部
分が多いと感じました。

一方、傷病者の搬送中
における救急医療処置の
継続について、メディカ
ルコントロール協議会と
の兼ね合いがあり、今後
の検討課題として隊員の
救急救命士有資格者の派
遣を含め意見交換を行
いました。また、職場内で
消防職員協議会からの情
報が届きにくいことが問
題として挙げられ、今後
HPやスクラムを通じて
積極的な情報提供ができ
るよう検討したいと思
います。

ごあいさつ

橋本 麻友美



三重県消防職員協議会
の皆さま、はじめまして。
4月から前任の石原に代
わります。

ます。

最後に、各隊員の皆様
お忙しい中、約1時間に
わたり様々な質問に忌憚
のない意見をいただき、
大変貴重な意見交換会と
なりました。これからも
健康にお気をつけて業務
に専念ください。

※CRM(フル・リン
ス・マネジメント)

航空分野で開発された
概念で、安全な運航のた
めに利用可能な全てのリ
ソース

(人的資源や情報など)
を有効活用するという考

わり消協を担当いたしま
す自治労三重県本部の中
央執行委員の橋本麻友美
です。出身は伊勢市職労
で伊勢には消協がなく、
消協について分からない
ことが多いですが、自治
労と消協ともに連携しよ
り良い職場づくりを目指
してがんばりましょう。

え方を指し、主に航空会
社のコックピット内コ
ミュニケーションやリ
ダーシップ、意思決定に
焦点が当てられる。

その後、航空界だけで
なく、ヒューマンエラー
が安全に大きく関わる医
療、海運、原子力発電、
消防などの分野にもCRM
の考え方が広がってい
る。

ウィキペディアより引用

